

<リンクノート>

※介助・見学日の翌日、17時30分までに担当医の所属講座へ提出

班 番号

担当医 : 歯科クリニック・大学病院

氏名

科 () 科 ()

介助(見学)日 : 年 月 日 () : ~ :

処置内容 :

過去関連問題 : 国試 第102回 C-31 (補綴・義歯)

72歳の男性。全部床義歯の安定不良による咀嚼障害を主訴として来院した。新義歯を製作し、義歯調整を数回行ったが、下顎義歯床下粘膜の疼痛が改善しなかった。義歯の適合には問題がなかった。厳密な咬頭嵌合位をとらせた時の写真と軽く咬頭嵌合位をとらせた時の写真を示す。

行うべき処置はどれか。2つ選べ。

- a 下顎の粘膜調整
- b 咬合面の削合調整
- c 下顎義歯のリライン
- d 下顎義歯床粘膜面の調整
- e 再咬合採得による義歯のリマウント

